

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社福沢製作所)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			就業規則19条で性別、年齢、国籍、出身などによる差別を禁止し、みんなが平等で公平に働けるような仕組みを構築している(研修会、意見交換の場を設けている)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則15条16条17条18条20条にハラスメント禁止条項。社内において研修認識の実施。上伊那地域健康センターが窓口で相談可。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			勤怠管理の電子化: 労働時間をより効率的に管理するため、勤怠管理システムを電子化し、社員が働いた時間をリアルタイムで確認できるようにする								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			正規社員の外国人労働者がいる。労働環境は他の社員と変わらない				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			対策チームによる年間計画書の実施評価継続。安全パトロール月1回チェック。通勤時の安全運転を促進するため、交通ヒヤリハット情報を共有し、安全運転を強化する			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			就業規則第52条第54条に定めあり。朝礼時体調不良者の確認指示、メンタルヘルスに関する方針と計画を策定			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性、高齢者が働きやすい社風を大事にしている 65歳の定年後も希望により継続雇用している。”付せん活用ワーク”により社員の知恵で課題解決へつなげる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			外部研修の導入: 希望者に外部研修への参加機会を提供し、人材育成を図る				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行っている。会社全体の仕事量を可視化し、負担の偏りを解消する					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			長野県産業保健総合支援センターが窓口で支援を受けることができる。毎朝ラジオ体操を実施し、1日100円健康手当で参加推奨。社員が希望日に有給を取得できるようにし、ワークライフバランスを向上させる			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物の分別徹底を実施し、許可された信頼ある業者へ委託。悪天候でも使いやすいよう社内リサイクルステーションを完備し、ゴミの削減を図る											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			自社の電力量を数字で見える化し、前年対比で増減を分析し原因を特定して壁新聞で掲示し伝える							7.3						13				
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			LED照明100%へ切り替え済 昼休憩45分間の消灯実施中。生産用機械として省電力化機械設備を導入済							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			通路化粧室などセンサーライト導入			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			生物多様性に悪影響のあるものを排水へ流さないようにする。土地に除草剤を使わない、界面活性剤を使わないなど情報を得ながら使用製品を切り替えていく						6.6									15		
	【３Ｒの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			使わなくなった装置や備品のリユース、廃棄されるもののリサイクルに取り組んでいる。裏紙の再利用さらにペーパーレスの推進とDX化、製造過程から出た端材の再利用、超硬工具などの回収リサイクルを推進する										12.5		14.1					
	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			水の使用量を把握し、利用効率の改善と使用量の削減に取り組んでいる						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ		【予定】	ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格について学ぶ			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			自社ホームページ等で環境活動への取り組み内容を公開											12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	空いている工場屋根を活用したソーラーパネル、太陽光発電設備を導入検討。買電エネルギーを見直す							7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			認証製品（森林、パーム油、ゴムなどのプランテーションにより生産される原材料など）を利用する											12.2	13	14	15			
公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・増収賄禁止等を含む行動規範を就業規則第3章13条で定め、社内浸透を図っている																16 16.5	
	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争、癒着などの禁止、不当利益の禁止を含む行動規範の整備と社内浸透を図っている																16	
	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			保護が必要な特許及び商標は知的財産権を侵害をしてないか確認する。社員に知的財産の大切さについて学習会をする。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			個人情報取扱規程を整備し、就業規則第21条に定められている																16	
	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																16	
	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			企業理念、関係法令や規則に基づき、公平公正な取引、法令順守、グローバルな人権問題等に配慮する。材料(メタル)のサプライチェーンに問題がないかをチェックする					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】（R5. 9. 5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成公表している・			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品の洗浄はできる限り安全なものを使用している。 製品の有害化学物質の低減、環境配慮設計の推進、 製品への環境規制・ニーズ対応に引き続き取り組む			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			品質保証の見える化: 現場で品質保証を視覚的に管理するシステムを導入し、品質向上を図る。:製品の工程を可視化し、誰でも確認できるようにし、トレース可能にする								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開について学ぶ						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開について学ぶ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			社外清掃活動: 社外の環境美化清掃にも積極的に参加し、地域貢献を図る。冬季には朝30分の雪かきを実施し、敷地内外の安全を確保する				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			子供たちの職業観を育むため職場体験を受入れる 途上国の課題解決のためにモノの回収・寄付 子ども食堂に自動販売機収益1%を寄付				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			当社の製品用材料はできるだけ国産としている								8	9		11	12	13				
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			健康経営、SDGs経営、安全衛生経営に全社員で取り組み自社の強みを社内で共有している								8	9								17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		【予定】	現行の就業規則を基準に、ガイドラインの作成をし、社内浸透を図る																	16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			全社員がSDGsミーティングを行い継続した取り組みをしている。各チームに担当者を配置し、精力的に活動している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			取引先とのコミュニケーションを十分に取り、自社活動のステークホルダーへの影響を把握している																16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	リスクマネジメント: 災害時の社内連絡システムを設ける。伝言ダイヤルを活用する。欠員発生時の対応マニュアル策定																	16
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			企業及び社員と社会との関係性について勉強会を開催する																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	欠員発生時の対応マニュアル策定: 突然の欠員に対応できるマニュアルを整備し、事業継続を確保する。特に非常作業に必要。工程の可視化:製品の工程が誰でも確認できるようにし、トレース可能にする。									9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	適正在庫の見直し: 在庫管理を改善し、適正在庫を維持することで生産効率を向上させる								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
森林や動植物と共存するための環境整備活動をサポートする		NPO法人FOP奏の森にて荒廃森林の再生の為の整備活動に協力する				4							11		13		15		17
ネパールの母子のウェルビーイング向上のため支援活動		寄付、廃材を活用し現地に役立つ品物を製作し寄贈	1		3							10						16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定